



### ■あらたに放鳥トキ2羽が本土で確認されました

9月23日から24日に実施された第15回放鳥で、ケージから飛び立ったトキのうち、2羽が本土で確認されました。

今回確認されたのはNo.269メス(弥彦村で確認)と、No.276メス(長岡市で確認)です。島外で確認されたトキは、No.04メス(石川県輪島市)と合わせて、これで3羽となりました。



長岡市で確認されたNo276  
写真提供:環境省

### \*トキの情報をお寄せください。

放鳥されたトキは、島内各地を多く移動し、普段トキが見られない場所で行動することもあるため、皆さまからの情報が重要なデータとなります。

トキを見かけた際にはトキ交流会館(フリーダイヤル0120-980-551)へお気軽に情報をお寄せください。



海外府で確認されたNo247  
写真提供:環境省

### ■ご寄付ありがとうございました

トキ環境整備基金に

村本義雄様(石川県羽咋市)、北片辺農事組合様(佐渡市)、新潟県佐渡地域振興局様(佐渡市)、青木健一郎様(佐渡市)、(有)高橋農園様(佐渡市)からご寄付をいただきました。

いただいたご芳志は、トキの野生復帰や生息環境の整備に使わせていただきます。

### ◆市役所農林水産課農業政策室

トキ政策係(トキ交流会館内)

☎24-6040

### 『伝えよう!ジオパークの魅力』

11月3日(木・祝)に『ジオパークシンポジウム2016伝えよう!佐渡ジオパークの魅力』が開催されました。

今回のシンポジウムでは、講演会や体験コーナー、ジオツアーなど盛りだくさんのプログラムを企画し、メイン会場のアミューズメント佐渡には、100人を超える人たちが集まりました。

糸魚川市のフォッサマグナミュージアム館長である宮島宏さんの講演では、糸魚川の事例紹介などを通して、「ジオパークを理解するために、まず楽しむことから始めよう」とお話がありました。

また、4つのジオツアーには、約70人が参加し、あいにくの雨の中のツアーでしたが、それぞれのコースをガイドや指導員などと一緒に巡り、楽しみながら学習しました。

今回のシンポジウムで伝えられたことは、ジオパークを感じることでできる素材は身近にあるということです。私たちのすぐ近くにあるものや、生まれたときからすでにあるものは、なかなか気付くことができます。

そこで、「佐渡ジオパーク推進協議会」では、ツアーや体験活動などを通して、皆さんの暮らしと地球活動はつながっていることに気づき、理解してもらえよう活動が続けています。地面の下にある大地、その上に生きる人や動植物、そして人間が生み出した文化や歴史など、個別に楽しむことができる素材をまるごと楽しむことができるのが、ジオパークの魅力です。

そして、佐渡にはその素材があふれています。これらの素材がどのようにつながるのかを知る研修会や、活用するためのイベントなどを今後企画していきますので、参加し楽しむことから、ジオパークを学んでみましょう!

### 佐渡ジオパーク フォトコンテスト作品展示中!

期間 2月19日(日)まで(予定)  
午前8時30分~午後5時  
会場 あいぼーと佐渡  
(両津夷384-11)

### ◆市教育委員会社会教育課

ジオパーク推進室(両津支所内)

☎27-4185